

<薬局での服薬指導>

●目的

- 1 糖尿病患者に対して、広範囲な指導内容をもれなく、継続的に行っていく。
- 2 患者を取り巻く医療関係者と情報を共有し、患者のADLを向上させる。

●従来の薬局での指導

毎回確認している項目	HbA1cの値 低血糖の有無 併用薬(DM以外でも常に確認) インスリン必要日数の確認(製剤、針の不足はないか?)
必要に応じて確認している項目	副作用 食事、運動 インスリンの手技、保管方法 ブドウ糖携帯・使用方法についての指導副作用

* 問題点・・・指導項目について偏りがあり、継続した指導ができていない。



チェックリスト化することで、さまざまな項目をもれなく確認できるシステム作り

別紙 DMチェックリスト

- ・1回の服薬指導で、一つのチェックリストにある3~4項目を指導。
- ・内服薬はチェックリスト1~5、インスリンはチェックリスト1~8を用い、順に指導。

さらに発展させ、薬局での指導内容を共有
糖尿病服薬手帳による連携

検査結果	検査日	/ 7 / 2	/ 8 / 1	/ / /	
	施設				
	体重(kg)	60	60.5		
	血圧(mmHg)	130 / 75	125 / 60		
	血糖値(mg/dL)	空腹時・食後/20分	空腹時・食後/20分	空腹時・食後 /分	
		140	135		
	HbA1c(%)	7.0	6.9		
	TC/LDL-C	/	/	/	
	TG/HDL-C	/	/	/	
	AST/ALT/γ-GTP	/	/	/	
	Cr/eGFR/UA	/	/	/	
	尿アルブミン指数	mg/gCr	mg/gCr	mg/gCr	
	尿蛋白	定量	g/gCr	g/gCr	g/gCr
		定性	- ① 1+・2+・3+	- ② 1+・2+・3+	- ③ 1+・2+・3+
	治療のポイント	下部にシールを貼付			
	副作用確認 チェックリスト 1	低血糖 チェックリスト 2			

チェックリストのミニシールを用いて糖尿病連携手帳に指導内容を記録

副作用確認 チェックリスト 1	低血糖 チェックリスト 2
三大合併症 チェックリスト 3	食事・運動 チェックリスト 4
シックデイ チェックリスト 5	インスリン保管 チェックリスト 6
インスリン手技 チェックリスト 7	インスリン手技 チェックリスト 8

その他の連絡事項、気になる患者については、情報提供書、糖尿病グループなどを活用していく。

DMチェックリスト

副作用確認◆チェックリスト 1

自分の薬の名前が言えるか？

- ・禁忌薬のチェック
- ・副作用の確認

- ◆α-グルコシダーゼ阻害薬 ...膨満感、ガス、下痢、軟便、便秘、腹痛、食欲不振、悪心、嘔吐、など
- ◆SU剤...空腹感がとても強い→食べ過ぎ注意
長期間で効果低下、低血糖
- ◆DDP4阻害薬...肝障害、腎障害、便秘、空腹、腹部膨満
- ◆インスリン抵抗性改善薬
むくみ、貧血、まれに重症の肝障害(検査値チェック)
- ◆ビグアナイド薬...下痢、吐き気やけいれんによる昏睡状態、乳酸アシドーシス、食前に飲むと胃腸障害
- ◆SGLT2阻害薬...脱水、尿路感染、低血糖

低血糖◆チェックリスト 2

- ・主な原因について指導
- ・症状
 - ◆は はらが減る
 - ◆ひ 冷や汗が出る
 - ◆ふ ふるえてくる
 - ◆へ へんな言動
 - ◆ほ ほっとくと昏睡

三大合併症◆チェックリスト 3

血糖コントロールの必要性を理解してもらうことが大切

- ◆し(神経)
- ◆め(眼または網膜症)
- ◆じ(腎臓)

食事・運動◆チェックリスト 4

- ◆食事指導
→バランスのよい食事
- ◆運動指導
→適度な運動を。

シックデイ◆チェックリスト 5

別紙

インスリン保管◆チェックリスト 6

- ・自分の打っているインスリンの名前をおぼえているか？
- ・冷凍しないように、冷蔵庫のドアポケットに入れること。使用中のものは室温で。
- ・外出時、車内などの高温環境に置かない。
- ・注射にブドウ糖が付着しないように。

インスリン手技◆チェックリスト 7

- ・懸濁製剤はしっかり混ぜる
- ・消毒を毎回する
- ・注射針は注射の前に装着。終わった後取り外す。針の廃棄は適切に。

インスリン手技◆チェックリスト 8

- ・部位の確認。毎回3cmずらして打つ
- ・注射を押しすぎない、ダイアルを回せないことはないか？
- ・注射後しばらく数を数えてから針を抜く(薬剤によって秒数異なる)